

マンゼブ水和剤 ペンコゼブ水和剤	取扱メーカー： クミカ、三井アグロ、一農、琉産 原体メーカー： セレクサアグリ
成分： マンゼブ〔有機硫黄 PRTR・1種〕……………80.0% その他 PRTR 該当成分： ヘキサメチレンテトラミン〔PRTR・1種〕……………1.8%	性状： 淡黄色水和性粉末45 μ m以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 成分が浸透移行せず植物の表面上に残存することにより病原菌の感染を強く阻害する。付着性、耐雨性に優れているので予防散布により安定した効果を示す。また、残効性もある。
- 多作用点阻害剤であるので、耐性菌発生のおそれが少ない。
- サビダニを始めチャノキイロアザミウマにも有効である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈かんきつ〉

- 黒点病を主体に5～9月の果実感染期の防除に重点をおいて散布すれば、小黒点病、サビダニ、チャノキイロアザミウマなど主要病害虫を同時に総合的に防除できる。

〈なし〉

- 黒点病・赤星病の同時防除ができる。開花直前～落花期まで600倍で同時防除する。

〈きゅうりなどの野菜〉

- べと病と炭疽病の予防散布に重点をおく。他剤の耐性菌対策として本剤をローテーションの中に組み込む。

〈ばれいしょ〉

- 疫病の発病初期から定期的に防除。
- ばれいしょに対して希釈倍数100倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。

〈てんさい〉

- 褐斑病の発病初期から4回、定期的に散布する。他剤の耐性菌対策として本剤をローテーションの中に組み込む。
- 希釈倍数125倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさける。
- マンゴーに使用する場合、果実に汚れを生じることがあるので、着色期以降の散布はさける。
- 適用作物（全般及びきゅうり、その他野菜）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	マンゼブを含む 農薬の総使用回数				
み か ん	黒点病	400 ～ 800 倍	200 ～ 700 ℓ	30 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内				
	小黒点病	600 ～ 800 倍									
	そうか病	400 倍									
	炭疽病	600 倍									
	そばかす病 褐色腐敗病 チャノキイロアザミウマ	400 ～ 600 倍									
	ミカンサビダニ	1000 倍									
か ん き つ (みかんを除く)	黒点病 小黒点病	600 ～ 800 倍		90 日前まで	45 日前まで		2 回以内	2 回以内			
	そばかす病 炭疽病 褐色腐敗病 汚れ果症 チャノキイロアザミウマ	600 倍									
	ミカンサビダニ	1000 倍									
	か き	落葉病 炭疽病							400 ～ 800 倍	5 回以内	5 回以内
	な し	黒星病 赤星病							400 ～ 600 倍		
		黒斑病 輪紋病							600 倍		
り ん ご	黒星病 赤星病 黒点病 斑点落葉病 褐斑病 炭疽病	500 ～ 600 倍		30 日前まで	3 回以内		3 回以内				
	輪紋病 すす点病 すす斑病	500 倍									
	も も	黒星病 果実赤点病						600 倍	21 日前まで		
	ぶ ど う	黒とう病 べと病 晩腐病 褐斑病 さび病						1000 倍			
オ リ ー プ		炭疽病		600 倍	90 日前まで		落弁期まで	45 日前まで			
び わ	たてぼや病	炭疽病		800 倍							
マ ン ゴ ー	炭疽病	400 ～ 600 倍		100 ～ 300 ℓ	7 日前まで		7 回以内	7 回以内			
す い か	つる枯病	600 倍									
	褐色腐敗病	600 倍									
メ ロ ン	つる枯病 べと病	400 ～ 600 倍							5 回以内	5 回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	マンゼブを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	べと病	600 ～ 800 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
	炭疽病 褐斑病 黒星病	600 倍					
	べと病 疫病			21 日前まで	2 回以内		2 回以内
かぼちゃ	疫病	800 倍		前日まで			
トマト	葉かび病						
キャベツ	べと病	400 ～ 600 倍		30 日前まで	3 回以内		3 回以内
はくさい	べと病 黒斑病 白斑病	600 倍			1 回		1 回
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病			14 日前まで	3 回以内		3 回以内
	べと病 黒斑病 灰色かび病	400 ～ 600 倍		3 日前まで	5 回以内		5 回以内
たまねぎ	葉枯病			7 日前まで	10 回以内		10 回以内 (無人航空機 散布は 3 回以内)
にんにく	疫 病 夏疫病						2 回以内
ばれいしょ	疫 病	100 倍	25 ℓ				
さといも		500 倍	100 ～ 300 ℓ	21 日前まで	2 回以内		4 回以内
やまのいも	炭疽病 葉渋病	400 ～ 600 倍	25 ℓ		5 回以内		5 回以内
てんさい	褐斑病	125 倍					
だいず	べと病	400 倍	100 ～ 200 ℓ	45 日前まで	3 回以内		3 回以内
いちご	炭疽病	600 倍	100 ～ 300 ℓ	仮植栽培期 但し、収穫 76 日前まで	6 回以内		6 回以内
アスパラガス (露地栽培)	褐斑病 斑点病 茎枯病	500 倍		収穫終了後 但し、秋期まで			
さんしょう (果実)	さび病	600 倍	200 ～ 700 ℓ	最終収穫後 ～落葉期まで	3 回以内		3 回以内
樹木類	炭疽病 斑点症 (シュドサーコスボウ菌)			4 回以内	4 回以内		4 回以内
	枝枯細菌病						